

地球46億年と大地の 変動の探求

ご挨拶
理事長 宮下 純夫

北海道大学理学部地質学鉱物学科卒業。北海道大学大学院理学研究科地質学鉱物学専攻博士課程修了、理学博士。1987年から新潟大学にて教育・研究に従事。2013年から新潟大学名誉教授。2008-2012年日本地質学会会長。専門は岩石学・地質学（主に火成岩岩石学）。研究対象はオフィオライトおよび海洋地殻。



北海道総合地質学研究センターは北海道内外の大学や研究機関、教育機関、企業などで地質学に関連する研究・教育・実務などに従事してきた人々によって2016年3月1日に設立されました。

それまで行ってきたさまざまな活動を退職後も継続できる場となるとともに、これまでに培ってきた地質学などに関する専門性を活用し、社会的貢献への舞台になることを目指しています。同時に中堅や若い人々の参加も歓迎しています。地球温暖化や地球環境問題、自然災害の激甚化などが大きな社会的問題となっている現在、こうした問題に関する情報発信や啓蒙・教育活動など、広い範囲にわたって会員が学び、寄与できるような場となることを目指しています。

会員数 39名（2022年8月現在）

| | |
|---------|-----|
| 正会員 | 19名 |
| 一般会員 | 18名 |
| 学生・院生会員 | 1名 |
| 賛助会員 | 1名 |

こんなことを めざしています

人為的要因による炭酸ガスの増大に端を発する温暖化の進行で、世界では異常な熱波や干ばつ、大雨や大洪水など、人類の生存を脅かす異変が進行しています。また、日本列島は世界有数の火山国であり、地震による被害も深刻な問題です。本センターは、こうした問題の最新の研究動向や気候変化の要因、自然災害への対処などを共に学び、交流を深めると共に、地質学・地球科学のリテラシーの向上を図ります。また、社会へ啓蒙・発信する事業や、自治体、博物館、教育機関やジオパークなどへの支援・助言事業にも取り組みます。

活動の基本

(1) 会員が退職後もそれぞれの創造的活動を意欲的に継続するための場を用意すること。

(2) 会員それぞれが培ってきた地質学などの専門性を活用して社会に貢献するための環境を用意すること。

(3) NPOとして、大学・研究機関、教育機関、民間企業、行政、市民個人などが単独では解決が困難な地質学・地球科学に関連する社会的な課題に対応し、またそれらの間の媒介的役割を果たすこと。

特定非営利活動法人
北海道総合地質学
研究センター

Hokkaido Research Center
of Geology (HRCG)



2016年（平成28年）3月1日設立

オフィス連絡先：

〒069-0813

江別市野幌町58-8 メゾンラテール101

TEL: 080-5830-2016

Email: office@hrcg.jp

URL: <http://www.hrcg.jp/>

【主たる事務所】

〒005-0012 札幌市南区真駒内上町5-5-6

活動内容

1) 公開講座の開催

地質学・地球科学の最先端のみならず身近な場所に潜んでいる地学の面白さを紹介するとともに、自然災害から身を守るために有用な地学の基礎知識を提供するための講座など、多様な講座を開催。

2) 研究セミナーの開催

会員の創造的活動の成果（研究成果など）の発表・討論を目的として実施。会員外にも公開されている。

3) 電子ジャーナル「総合地質」

(ISSN 2433-7161) の発行。
会員・非会員の研究成果や研究資料などの公表を目的として発行。

(2022年8月現在の主なものを示す)

ニュースレター

北海道総合地質学研究センターでは、研究セミナー・公開講座・電子ジャーナルなどの情報をお伝えするニュースレターをメールマガジンとして不定期に（月1回程度）発行しています。

配信ご希望の方は、office@hrcg.jp 宛てにお名前を添えてメールをお送りください。

加えて会員には、HRGC通信を年4回程度発行しています。

これまでの取り組み

研究セミナー

2016年（平成28年）5月から現在まで、計17回の研究セミナーを開催しています。セミナーの内容はおもに地質学の専門的なテーマに関するものですが、応用地質学や地学教育、さらにはNHKの“プラタモリ”への出演エピソードなど、多彩なものとなっています。一般の方のセミナー参加も可能ですので、関心のある方はホームページに掲載の開催予告をご覧の上、ご参加ください。



(第10回研究セミナーの様子)

電子ジャーナル「総合地質」

2021年（令和3年）5巻1号（116ページ）
2020年（平成29年）4巻1号（49ページ）
2019年（令和1年）3巻1号（63ページ）
2018年（平成30年）2巻1号（60ページ）
2017年（平成29年）1巻1号（70ページ）

講師等派遣

2018年（平成30年）
7月 苫小牧市小学生の地層見学に解説者派遣。
11月 平成30年度自然誌講演会・サイエンスカフェ「中川町のなりたちを知る」地質講演会（中川町教育委員会主催）に講師派遣。

公開講座

2019年（平成31年）

2月 第3回公開講座「海と陸の本当の違いー砂漠の国オマーンで見る海底下40kmの岩石の世界ー」を道民カレッジ連携講座として実施。

2018年（平成30年）

5月-9月 第2回公開講座「地形・地質から北海道の自然災害を考える」（野外観察会1回を含む6回シリーズ）を道民カレッジ連携講座として実施。

2017年（平成29年）

10月 第1回公開講座「札幌の失われた川を歩く」を道民カレッジ連携講座として実施。



(第2回公開講座野外観察会の様子)

野外観察会

2021年（令和3年）

10月 第2回野外観察会
「藻南公園周辺の地形地質」開催。

論文輪読会・会員交流会

2022年（令和4年）

7月 第4回論文輪読会。

3月 第6回会員交流会。

いずれもオンラインを併用で開催。